

# ロシア近代絵画の頂点 国立トレチャコフ美術館所蔵 レーピン展

The Zenith of Modern Russian Painting

**Ilya Repin**

Master Works from The State Tretyakov Gallery



2013年  
4月6日[土]—5月26日[日]

休館日：月曜日（ただし4月29日、5月6日は開館）  
開館時間：午前9時30分—午後5時（入館は午後4時30分まで）

主催：神奈川県立近代美術館  
後援：ロシア連邦外務省、ロシア連邦文化省  
在日ロシア連邦大使館、ロシア連邦文化協力庁  
ロシア文化フェスティバル組織委員会  
協力：日本航空  
企画協力：アートインプレッション

観覧料：一般1,100円（1,000円）、20歳未満・学生950円（850円）、65歳以上550円、高校生100円

\*（ ）内は20名以上の団体料金です。

\* 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。その他の割引につきましてはお問合せください。

\* ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第一日曜日（今回は4月7日と5月5日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金（65歳以上の方をのぞく）でご観覧いただけます。

\* 無料開館日「国際博物館の日」：5月18日（土）は、神奈川県立近代美術館で開催中の3つの展覧会を無料でご観覧いただけます。



本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています。

神奈川県立近代美術館 葉山

The Museum of Modern Art, Hayama

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1

Tel. 046-875-2800

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

■お問合せ先

神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1

tel. 046-875-2800 / fax. 046-875-2968

広報担当：土居、長島 展覧会担当：靱山

## ロシア近代絵画の頂点——イリヤ・レーピン(1844-1930)

文豪トルストイやドストエフスキー、作曲家チャイコフスキーやムソルグスキー、元素の周期表を提案した化学者メンデレーエフなど、19世紀後半の帝政ロシアには華やかな文化が花開きました。イリヤ・レーピンは、その時代の美術を代表する巨匠です。彼はその卓越した描画技術で、当時の社会、人物を活写し、また入念な時代・民俗考証を行って祖国の歴史の重要な場面を再現しました。描かれた人物の個性や内面をも感じさせるほどに透徹したレーピンのリアリズムは、まさにロシア近代美術の頂点を示すものです。

帝政ロシアのモスクワの豪商パーヴェル・トレチャコフが築いたロシア美術の殿堂、国立トレチャコフ美術館が所蔵する珠玉の作品群より選ばれた、レーピンの画業の初期から晩年に至る様々なジャンルの油彩画、水彩画、素描、計79点で構成される本展は、日本を巡回する過去最大の回顧展であり、神奈川県立近代美術館 葉山がその最後の会場となります。

肖像画の代表作《作曲家モデスト・ムソルグスキーの肖像》、同時代の人々の心理描写に優れた《思いがけなく》、歴史画の大作《皇女ソフィヤ》、水彩画の傑作《エジンバラ大学教授のガウンを着た化学者ドミートリー・メンデレーエフの肖像》など、レーピンの芸術の粋と帝政ロシアの絢爛たる文化を実感できる、またとない機会となるでしょう。



2



3



4



5



6



7

### <関連企画>

#### ○オープニング・トーク

4月6日(土) 午後2時-2時30分

講師: 国立トレチャコフ美術館スタッフ

申込不要、無料(ただし「レーピン展」観覧券が必要です。)

#### ○記念講演会

4月21日(日) 午後2時-4時

「甦るレーピン——移動派の現代性」

講師: 鴻野わか菜(千葉大学准教授/ロシア文学・文化)

場所: 神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

定員: 70名(当日先着順) 申込不要、無料

5月18日(土) 午後2時-4時

「イリヤ・レーピンの絵画の特質について」

講師: 勅山昌夫(当館主任学芸員)

場所: 神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

定員: 70名(当日先着順) 申込不要、無料

#### ○学芸員によるギャラリー・トーク

4月9日(火)、5月19日(日) いずれも午後2時-2時30分

申込不要、無料(ただし「レーピン展」観覧券が必要です。)

1. 《作曲家モデスト・ムソルグスキーの肖像》1881年、油彩・カンヴァス
2. 《思いがけなく》1884-1888年、油彩・カンヴァス
3. 《皇女ソフィヤ》1879年、油彩・カンヴァス
4. 《エジンバラ大学教授のガウンを着た化学者ドミートリー・メンデレーエフの肖像》1885年、水彩・紙

5. 《ワルワラ・イクスクル・フォン・ヒルデンバント男爵夫人の肖像》1889年、油彩・カンヴァス
  6. 《休息——妻ヴェーラ・レーピナの肖像》1882年、油彩・カンヴァス
  7. 《少年ユーリー・レーピンの肖像》1882年、油彩・カンヴァス
- いずれも ©The State Tretyakov Gallery